

O's news

オーズニュース

2016

第137号

6

2016年6月1日発行

〒674-0064 兵庫県明石市大久保町江井島1661-1 TEL:078-938-1238/FAX:078-938-1236 mail info@onc.akashi.hyogo.jp

地域医療連携室 TEL:078-938-1288/FAX:078-938-0399

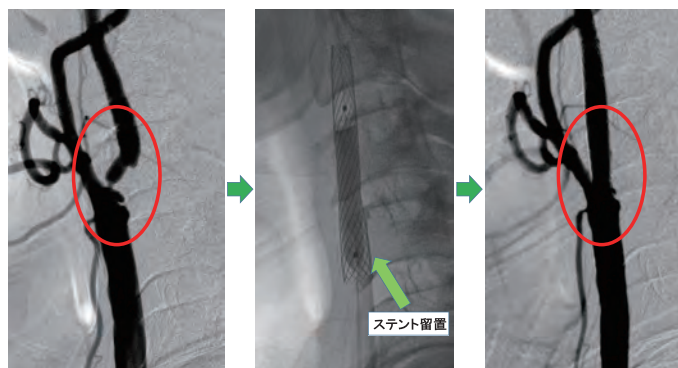
<http://www.onc.akashi.hyogo.jp/>

発行責任者:院長 大西 英之 編集責任者:事務次長 瀧原 健司

頸動脈狭窄症に対する血管内治療

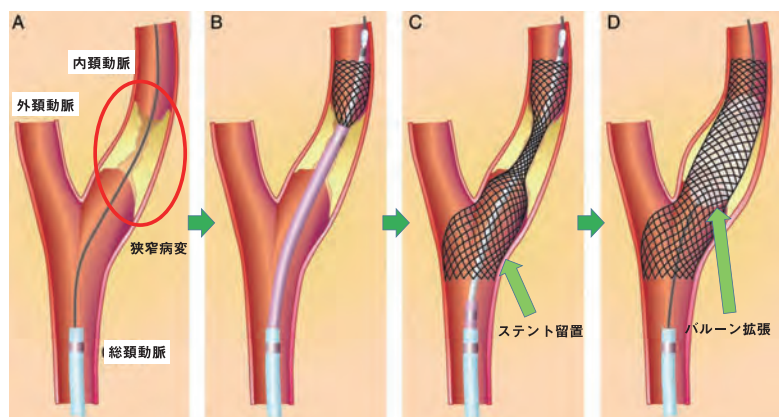
脳神経外科 手術部長
高橋 賢吉

頸動脈狭窄症とは脳の広い範囲を栄養する内頸動脈の根元が細くなる病気です。動脈硬化により血管の壁に粥腫というコレステロールのゴミがたまるのが主な原因です。血流が悪くなることで血栓が形成されたり、たまっている粥腫がはがれて脳の血管に飛ぶことがあります。狭窄部から流れた血栓や粥腫により脳の血管がつまることで脳梗塞が生じ、突然の手足の脱力や痺れ、呂律が回らない等の様々な症状が出現し後遺症として残る可能性があります。また狭窄部が突然つまることもあり、内頸動脈が根元で詰まることで広範囲の脳梗塞が生じ、寝たきりとなったり、そのまま死に至ることもあります。脳梗塞が起こる前に治療することが重要で、頸動脈狭窄症と診断されれば血をサラサラにする内服治療や細くなった血管を広げる手術治療を選択することになります。狭窄が軽ければ内服治療を行います。狭窄がひどい場合やたまっている粥腫が軟らかく飛びやすければ手術治療が必要です。手術の方法は二通りあり、直接血管を切り開いて粥腫を取り除く血栓内膜剥離術という外科手術もしくはカテーテルにより血管の中から狭窄部を拡張してステントを置く頸動脈ステント留置術という血管内治療があります。頸動脈ステント留置術は最近10年程で発達した新しい治療法で、



外科手術に比べて体への負担が少ないことが大きな特徴です。治療は局所麻酔で手術時間は30分程度、傷はカテーテルを挿入する部分の5mmだけでほぼ痛みも伴わない患者さんに優しい治療法ですが、粥腫を血管内腔から押し広げることではがれた粥腫が脳に流れて脳梗塞を起こす危険性があることが大きな欠点でした。最近では剥がれた粥腫を回収するためのバルーンやフィルター等、新しい治療機材が日進月歩で発達しており、血管内治療に伴う危険性も少なく、外科手術に劣らない治療法となってきました。当院では頸動脈狭窄症に対する外科手術もしくは血管内治療の選択は、患者様の病変を精査した上でより安全で確実な治療法を提案するテーラーメイド

治療を行っています。特に高齢の患者様に対しては体への負担が少ない血管内治療を行う機会が増えており、血管内治療専門医により最新の機材を用いたステント留置術を行っています。いずれの手術も脳梗塞の予防のための治療であり、病気の早期発見・治療が重要です。一時的であっても、突然の痺れや脱力、呂律が回らない、片目が暗く見えにくい等の症状があれば、頸動脈狭窄症の疑いがありますので早急に受診し検査することが必要です。





北2階病棟は脊椎・脊髄センターとして、脊髄疾患の患者さまが多く入院されています。スタッフは看護師 24 名、介護福祉士 5 名、看護補助者 2 名、医師秘書 1 名で構成され、それぞれが連携をとり患者さまが安全に入院生活を送ることができるように援助しています。

脊髄疾患の患者さまだけでなく脳血管疾患の患者さまも入院されるため、疾患によって必要な日常生活援助は多様です。看護師は疾患や状態から必要な援助を考え、スタッフが統一して関わることができるように情報共有をしています。介護福祉士は食事、入浴、排泄などの生活動作の援助、

看護補助者は配下膳、配茶、移送、環境整備などを行っています。医師秘書は入院案内や医師の診療補助業務を行っています。

これからも、病棟スタッフだけでなく他職種とのカンファレンスや情報交換を行い、各職種が専門性を発揮してよりよい援助が行えるように努めていきます。



高齢者は要注意!? “フレイル”って!?

管理栄養士 主任 田淵 鉄也

「加齢とともに足腰の筋力が衰えて、立っているのも一苦労で疲れやすくなってきた。」
このようなことはありませんか？今まで“老化現象”と言われてきたこの症状が「フレイル」といわれています。この状態を放置しておくと、ますます体が衰弱していき、介護が必要となる体へとなってしまいます。フレイルとは、介護状態となる一歩手前の事です。

フレイルの予防は良質なたんぱく質を適切な量を取り、筋肉を鍛えることです。

「今から鍛えても意味ないので…?」と感じるかもしれませんが、筋肉は使わなければどんどん衰えていきます。まずはウォーキングなどの無理のない程度の運動から始めて、運動を習慣化することがフレイル対策になるでしょう。また、運動をすることで脳機能の低下を防ぐ効果もありますから、認知症の予防にも役立ちます。

食事量低下等に対してご相談などありましたら、主治医に相談の上、管理栄養士までお問い合わせください。



日本の四季暦「二十四節気と七十二候」のお話

ガーデンQoo 秋吉 美穂子



みなづき 水無月 旧暦では夏の盛りにあたり、梅雨が終わり、水も涸れて尽きる「水無し月」が転じました。三角形の白いうろろ生地に小豆が乗った「水無月」、6月30日の「夏越の祓」で食べられる京都の伝統菓子です。

二十四節気

八節気

しょうまん
小満

九節気

ぼうしゆ
芒種

十節気

げし
夏至

世(のぎ)とはイネ科植物の穂先にある針状の突起のこと。穀物の種まき、麦の刈入れの季節です。

一年で昼が番長く、夜が短くなる時です。梅雨の季節、体調を崩しやすいですね。各地の神社では「茅の輪が設けられ、「夏越の祓」が行われます。

七十二候

5/30~6/4(二十四候) **麦秋至** ばくしゅういたる

初夏のこの季節に、実りの「秋」を迎える麦です。江戸時代、農村では米の代わりに大麦を食べ、小麦は家畜の飼料とされていました。小麦を製粉する技術は、庶民の暮らしには遠く、うどん、団子などが身近になったのは、ほんの最近のことだそうです。



6/5~9(二十五候) **蟪蛄生** かまきりしょうず

秋に生みつけられた卵から、子どものかまきりが生まれてきます。やさしい色合いの枇杷の実が実る頃、枇杷の木は生命力が強くその葉は民間療法にも広く使われます。「桃栗三年柿八年枇杷(は早くて十三年)」の言葉通り収穫までは時間がかかります。



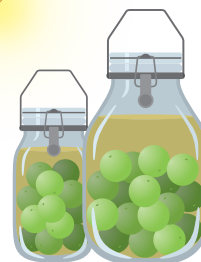
6/10~14(二十六候) **腐草為螢** くされたるくさほたるとなる

日本の夏の風物詩、螢が舞い始めます。「螢火の今宵の闇の美しき」高浜虚子
そうめん、冷奴の薬味としてさわやかな香りの「^{みょうが}茗荷」。ビタミンC、カリウムも多く夏の食卓には欠かせません。



6/15~20(二十七候) **梅子黄** うめのみきばむ

青々としていた梅の実が黄色く熟します。梅雨入りし、シトシトと降る雨にあざやかな紫陽花の花。この季節ならではの風景ですね。青梅のヘタを竹ぐしで取り、さっと洗って水分をふき、氷砂糖と梅を一對一でビンに。一日2~3回まぜて一週間で梅シロップのできあがり♪おすすめです。



6/21~25(二十八候) **乃東枯** なつかれくさかる

「夏枯草(カコソウ)が枯れる頃」という意味です。さわやかな香りの夏みかん、秋の暮れには他のみかんと同じように色づき始めますが、酸味が強く食べられません。初夏のこの時季にやっと酸味が弱まり食べ頃になるのです。

6/26~30(二十九候) **菖蒲華** あやめはなさく

菖蒲(あやめ)は畑のような乾燥地で栽培され、湿地で育つ菖蒲(しょうぶ)とは別の種類です。吹く風に涼しい音色の風鈴♪鉄製の南部風鈴、ガラスの江戸風鈴など色や音色も様々です。



6月の季節の花 あじさい

ユキノシタ科アジサイ属 落葉低木
原産地:熱帯アジア 花期:6~7月 花言葉:移り気、高慢



梅雨空の街頭に、明るくたっぷりと咲く紫陽花は本当に美しいものです。日本原産の「ガクアジサイ」「ヤマアジサイ」がヨーロッパへ渡り品種改良され、逆輸入された「ハイドランジア」と呼ばれるアジサイが現在広く親しまれています。

日本の土壌は本来酸性で、青色アジサイが多く咲いていますが、近年コンクリートの建物がふえ、土壌にアルカリ性分が溶けアルカリ性に傾く傾向になり赤色アジサイを多く見かけるようになりました。翌年の花芽は、切った位置のすぐ下につけるので7月末くらいまでに1/3くらいの高さに剪定を行いましょう。また購入鉢は、小さめのことが多いので必ず二回り程大きめの鉢に植え替えましょう。





Ohnishi Neurological Center

外来担当医表

		月	火	水	木	金
1診	午前	大西	埜本	久我	林	兒玉
	午後	埜本	大西	久我	林	兒玉
2診	午前	高橋	津田	角田	富士井	大西(宏)
	午後	高橋	津田	角田	村上	大西(宏)
3診	午前	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
	午後	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
5診	午前	津田	吉川	津田	津田	前岡
	午後	津田	吉川	津田	津田	前岡
6診	午前	脳血管内治療外来 高橋	佐藤	脳血管内治療外来 大西(宏)/高橋	内科 電門(カマド)	脳血管内治療外来 大西(宏)
	午後	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 林	脊椎・脊髄外来 山本	脊椎・脊髄外来 林
7診	午前	神経内科 立花	—	—	神経内科 藤田	神経内科 上田
	午後	—	—	—	内科 電門(カマド)	<13:00~> 麻酔科 鈴木 丸山
脳ドック		埜本	埜本	久我	埜本	兒玉

※診察受付時間:月~金 <午前>8:30~11:30 <午後>13:30~16:30 (H28.6)

連携協力医療機関のご紹介 (No.104)

さいとう内科クリニック

院長 斉藤 雅也

認定・資格:日本内科学会認定医・日本消化器病学会専門医
日本消化器内視鏡学会専門医・日本肝臓学会専門医
日本超音波医学会専門医・日本医師会認定産業医
日本静脈経腸栄養学会・Editorial Board Member of Journal of Hepatitis
神戸大学医学部附属病院消化器内科医学研究員
神戸市西区医師会会員・神戸市西区医師会指定学校医

診療科目:内科、消化器内科
住所:神戸市西区竜が岡1-15-3
電話:078-967-0019

斉藤院長からのメッセージ

お子様からご年配の方まで「気軽に相談できるお医者さん」です。消化器病・肝臓病の最新医療も実践しています。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(9:00~12:00)	○	○	○	○	○	○	/
午後(16:00~19:00)	○	○	○	/	○	/	/

連携協力医療機関のご紹介 (No.105)

こばやし小児科・脳神経外科クリニック

院長 小林 修一

小林 修一(脳神経外科)
認定・資格:日本脳神経外科学会認定脳神経外科専門医
日本頭痛学会認定頭痛専門医・指導医
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医

小林 めぐみ(小児科)
認定・資格:日本小児科学会認定小児科専門医
日本腎臓学会認定腎臓専門医

診療科目:小児科、脳神経外科
住所:神戸市西区白水3丁目1-15
電話:078-977-0330

小林院長からのメッセージ

脳神経外科は片頭痛など慢性頭痛の頭痛外来、小児科は小児科一般と低身長等の専門外来を行っております。



診療時間	月	火	水	木	金	土	日祝
午前(8:45~12:00)	○	○	○	○	○	8:30~13:00	/
午後(15:00~18:30)	○	○	/	○	○	/	/

お知らせ

他院にも掛っておられる方は、お薬手帳や血液検査データ、紹介状などもご持参ください。紹介状がある方も保険証は必要です。必ずご持参ください。

JR大久保駅~山陽電鉄江井ヶ島間で無料送迎バスを運行しています。受診予約はかかりつけの診療所からいただけます。詳しくは地域医療連携室まで。駐車料金は1時間毎に100円です。外来患者様にはサービス券をお渡します。

